

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133401		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。						
事務事業名	フェミニストカウンセリング事業			担当部局・課	市民部 男女共同参画課				
事業内容	女性が抱える心理的問題に、専門カウンセラーが相談に応じる。 1回1人50分のカウンセリング月22回実施 年間			事業開始(予定)年度					
				平成8年度					
				事業終了(予定)年度					
				—					
この事業の 上位施策	これから5 年間のまち づくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現						
		項目	きめ細かな地域福祉の推進						
		施策	男女共同参画社会の形成						
		⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。							
事業の目的	悩みを抱える女性のカウンセリングを実施することで、女性の悩みを軽減し、自らが持っている力を出せるように支援する。			予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 男女共同参画推進施策費				
事業費等の概算	平成17年度(決算)			平成18年度(予算)					
	事業費	1,664千円	財源内訳		事業費	1,664千円	財源内訳		
			国・県補助金等	—			国・県補助金等	—	
			市 債	—			市 債	—	
			その他(使用料等)	—			その他(使用料等)	—	
			一般財源(市税等)	1,664千円			一般財源(市税等)	1,664千円	
	投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		
	人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		
経費合計	2,521千円		経費合計	2,521千円					
活動指標	指標名(単位)		カウンセリング年間延べ実施回数(回)			計画と実績	年度	H17年度	H18年度
	意味・算式等		年間延べ実施回数				区分		
							計画値	264	264
							実績値	263	